

## 1. 目的

このガイドは、LAWICEL AB社製のCAN インタフェースモジュール CANUSB をパソコンで使用するために必要な、ドライバのインストール方法についての手順を示すものです。

## 2. 適用機種

このガイドは、以下の構成に対応します。

- ・LAWICEL AB社製 CANUSB

[http://www.can232.com/?page\\_id=16](http://www.can232.com/?page_id=16) （公式サイト 製品説明）

- ・CANUSBドライバ

CANUSBを使用するためには、2つのドライバをインストールする必要があります。

1つはUSBデバイスをハードウェアとして認識させるドライバとして FTDI USB ドライバが必要であり、もう1つはハードウェアとして認識しているデバイスを用いるためにCANUSB DLL ドライバが必要となります。各ドライバの動作概念は、図1 に示す通りです。

各ドライバは、公式サイトよりドライバをダウンロードして使用します。

- ・CANUSB DLL ドライバ for Windows XP, Vista, Windows 7, 32bit (version 2.0.2)

[http://www.can232.com/download/canusb\\_setup\\_win32\\_v\\_2\\_2.zip](http://www.can232.com/download/canusb_setup_win32_v_2_2.zip)

2015年4月現在、CANUSBには2種類のバージョンがあります。

本体の黄色いラベルにシリアルNoが記載されていますが、先頭に＋マークがあるかどうかで、使用するFTDI USB ドライバが異なります。

先頭にマークがない場合は、今まで通りLAWICEL AB社製のドライバを使用します。

- ・FTDI USB ドライバ (version 2.08.30)

[http://www.can232.com/download/CDM\\_2.08.30\\_CANUSB.zip](http://www.can232.com/download/CDM_2.08.30_CANUSB.zip)

先頭にマークがある場合は、FTDI社のD2XXドライバを使用します。

- ・FTDI D2XXドライバ

<http://www.ftdichip.com/Drivers/D2XX.htm>

マークの無いバージョンで、FTDI社のD2XXドライバを使用したい場合は、FTDI社のファームウェア書換ツール「FT Prog」を使用してPID(USBデバイスのプロダクトID)を、変更する必要があるようです。

詳細は、下記のLAWICEL AB社のリリースをご覧ください。

- ・CANUSBの新しいUSB PIDについて

<http://www.can232.com/?p=422>

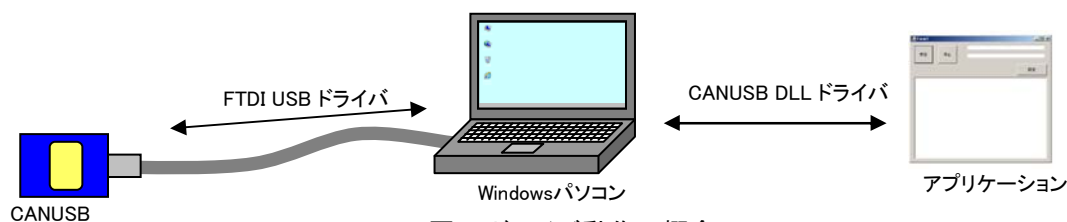


図1 ドライバ動作の概念

### 3. インストール手順

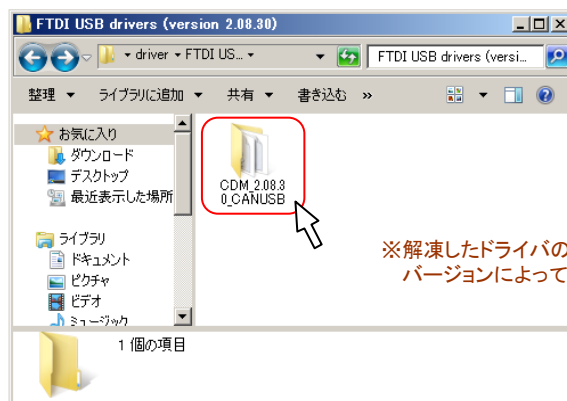
以下は、CANUSBのラベルに記載されているシリアルNoの先頭に「+」マークがないモジュール向けの、LAWICEL AB社製のドライバを使用した場合の例です。

ドライバのインストールは、先に FTDI USB ドライバ から行い、次にCANUSB DLL ドライバを行います。

#### a-1. FTDI USB ドライバのインストール手順 (Windows7の場合)

##### ①ドライバファイルをダウンロードし、解凍します。

解凍されたフォルダ名は CDM\_x.xx.xx\_CANUSB (xは数字) という名前であることを確認し、フォルダの場所、階層を覚えておきます。



※解凍したドライバのフォルダ名の数字部分は、バージョンによって異なります。

図2 解凍したフォルダ

##### ②CANUSB を パソコンの空いているUSBポートに接続します。

すると自動でデバイスのインストールが開始し、ドライバを探すためにWindows Updateに接続します。しばらく待つと、ドライバが見つからずにインストールが失敗します。

##### ③デバイスマネージャーを開き、ほかのデバイス の中にある CANUSB のプロパティを開きます。

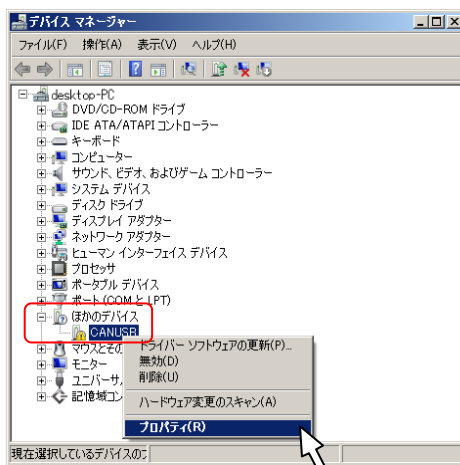


図3 CANUSB接続後のデバイスマネージャーの状態

- ④ プロパティを開いたら、[ドライバの更新(U)...] をクリックして開きます。

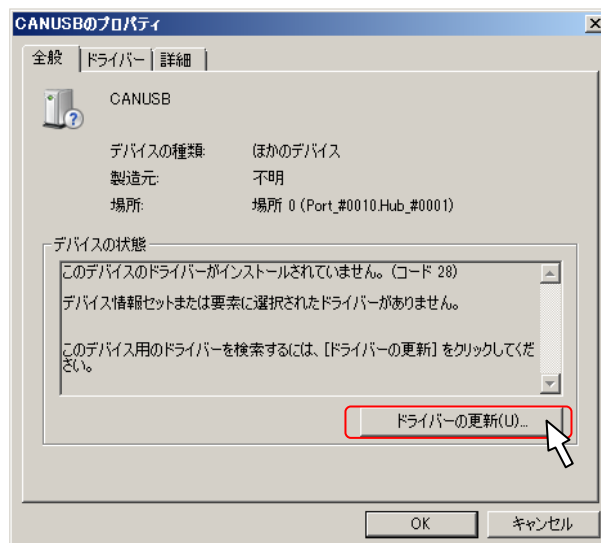


図4 プロパティ画面

- ⑤ [コンピューターを参照してドライバ ソフトウェアを検索します(R)] のボタンをクリックします。

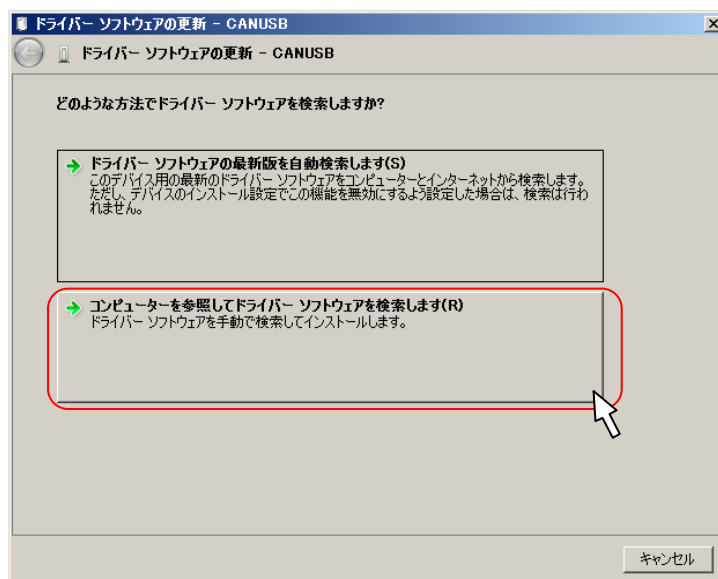
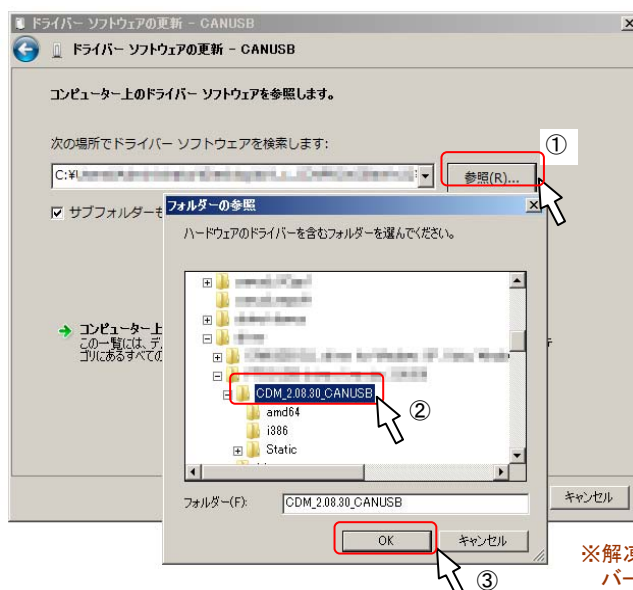


図5 ドライバソフトウェアの更新画面

- ⑥ [参照] ボタンを押して、ドライバの参照先フォルダを指定します。  
ドライバの場所は、手順①にて解凍したフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



※解凍したドライバのフォルダ名の数字部分は、バージョンによって異なります。

図6 ドライバの参照先フォルダの選択

- ⑦ 選択したフォルダのアドレスが表示されていることを確認して、[次へ(N)] ボタンをクリックします。

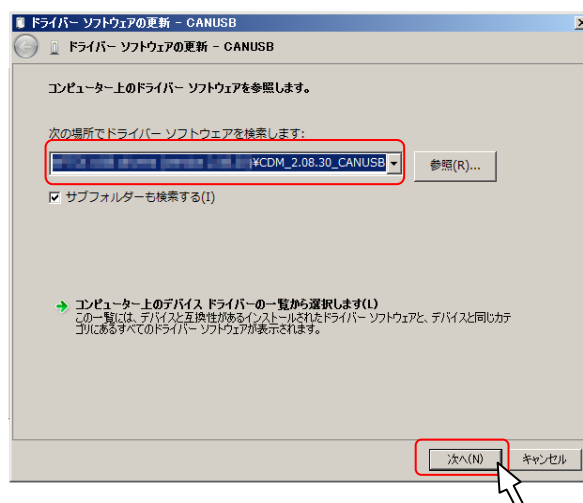


図7 ドライバの参照先

## ⑧ ドライバのインストールが開始します。

しばらくすると、「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」というWindowsセキュリティの警告画面が出ます。  
[このドライバー ソフトウェアをインストールします(I)] をクリックして、インストールを再開させます。

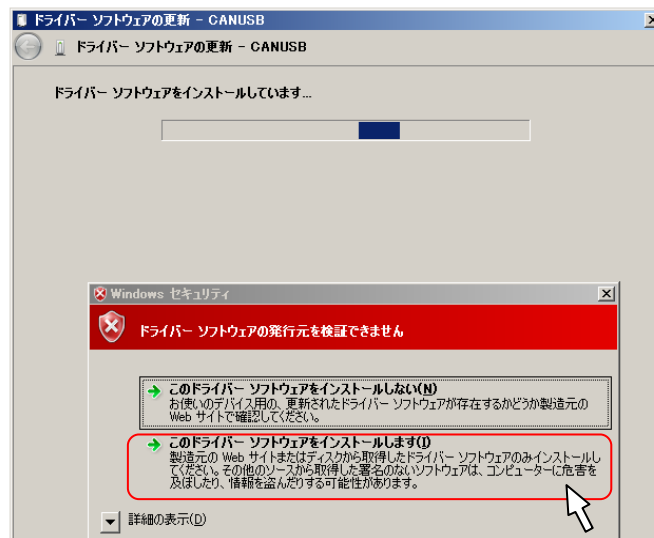


図8 ドライバインストール中の警告メッセージ

## ⑨ しばらくすると、「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」とメッセージが出ます。

[閉じる] ボタンをクリックして、ドライバのインストールを終了させます。

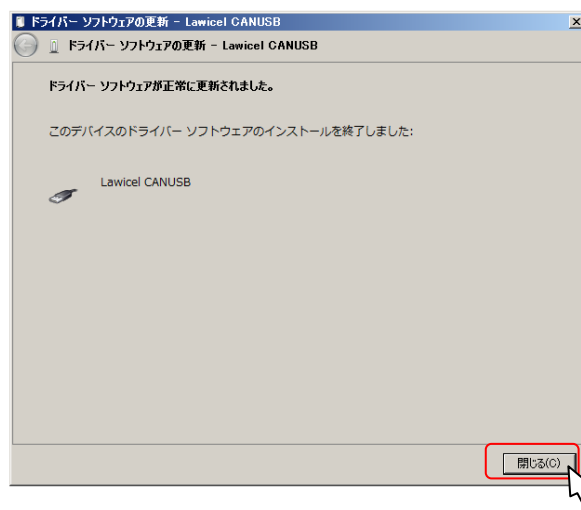


図9 ドライバインストールの終了

- ⑩ CANUSB のプロパティ画面を確認し、表示が「Lawicel CANUSB」と変更されていることを確認します。デバイスの状態が、「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認します。確認ができたら [閉じる] ボタンをクリックしてプロパティ画面を閉じます。デバイスマネージャーも閉じて、インストールを完了させます。

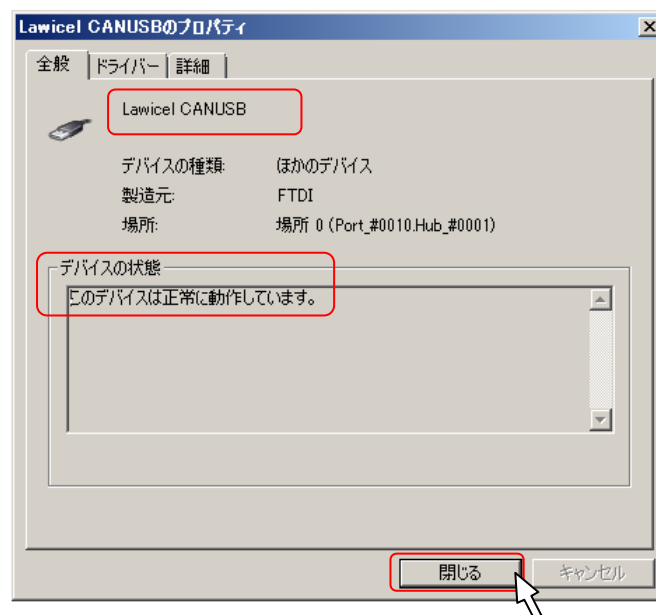


図10 ドライバインストール後のプロパティ画面

## b. CANUSB DLL ドライバ のインストール

- ①ドライバファイルをダウンロードし、解凍します。  
解凍したフォルダ内にある、SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。

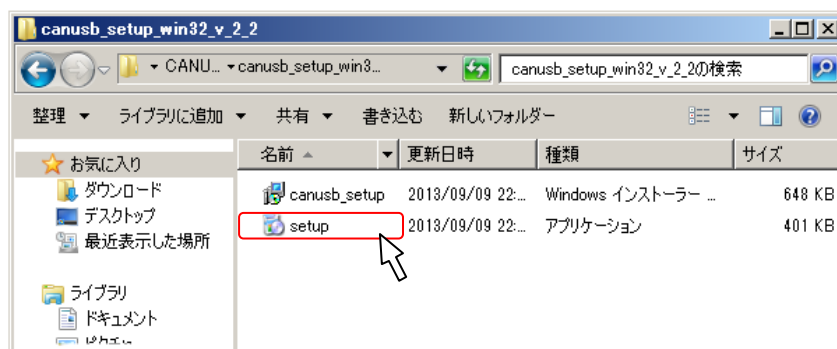


図 11 解凍したフォルダ内

- ②セットアップウィザードのウィンドウが表示されるので、  
[NEXT] ボタンをクリックして進めます。

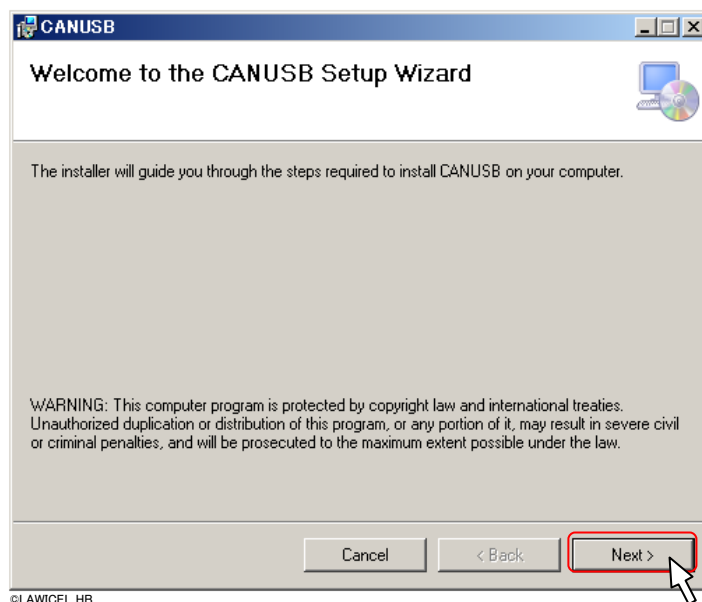


図 12 セットアップウィザード初期画面

- ③インストール先のフォルダを指定する画面が出ます。  
特に問題がなければ初期状態のままとし、[NEXT] ボタンをクリックして進めます。

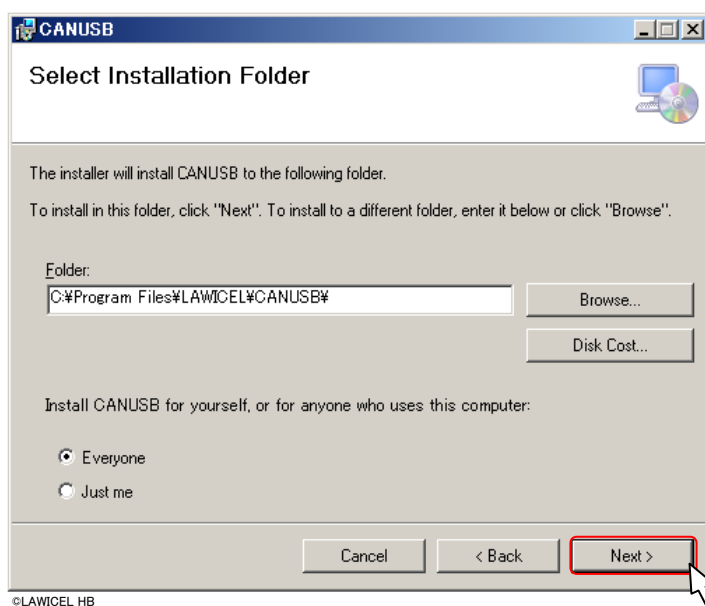


図13 インストール先の指定

- ④インストール開始画面が表示されるので、  
[NEXT] ボタンをクリックして進めます。

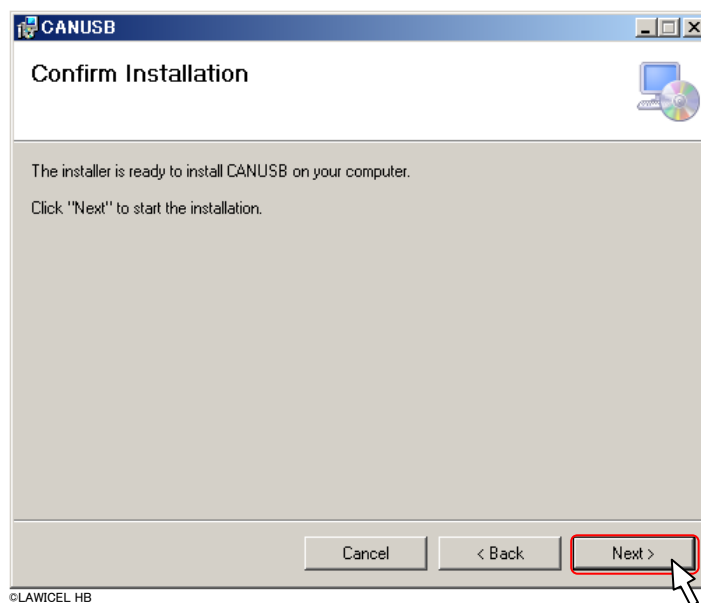


図14 インストール開始画面



⑤インストール中の画面が出るので、しばらく待ちます。

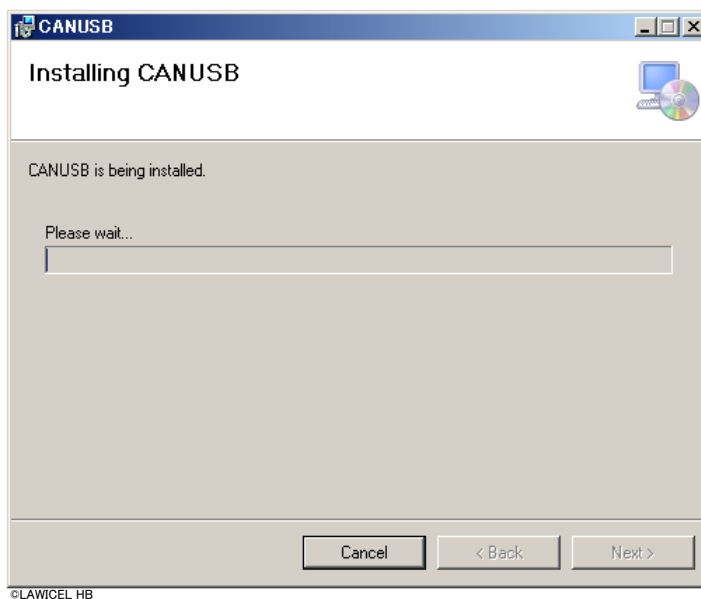


図15 インストール先の指定

⑥インストール完了画面が表示されるので、  
[Close] ボタンをクリックして終了させます。

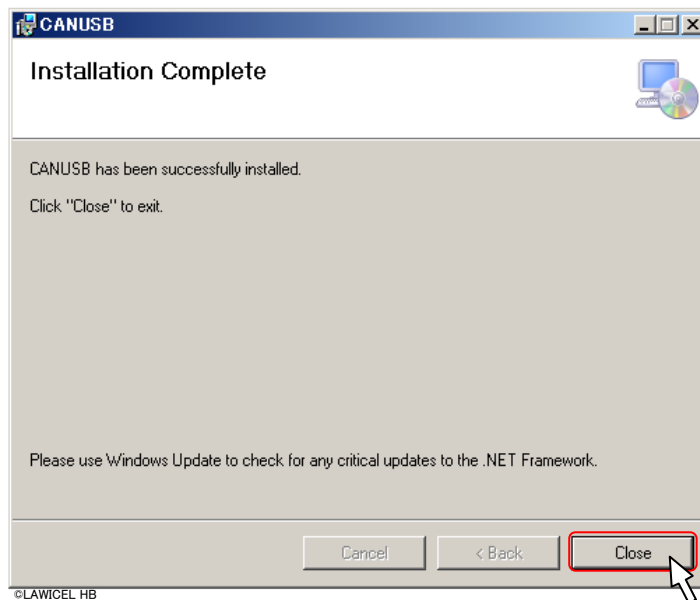


図16 インストール完了画面

⑦以上のすべての手順が正常に完了したとき、CANUSBはWindowsにて動作が可能となります。

#### 4. 更新履歴

2015.4.10 2版

- ・ CANUSBの種別によるドライバの使用方法について追記、修正。

2014.10.22 1版

- ・ 新規作成

#### 5. 注意事項

##### 改版・変更

本ドキュメントの内容は、予告なしに修正、変更することがあります。

##### 内容の精度

本ドキュメントの内容は、事実や実際の状況と異なる場合があります。

##### 複製の禁止

本ドキュメントのすべてもしくは一部に関わらず、許可無く複製や改変、転載等を行うことはできません。

##### 責任の制限

本ドキュメントを用いた結果発生したいかなる特別な損害、偶発的な損害、間接的な損害、重大な損害等のあらゆる損害について、一切の責任を負いません。

本ドキュメントを用いることによって発生しうるリスクは、すべて使用者に帰属します。

##### 使用目的の制限

本ドキュメントは、人命に関わる設備や機器、および信頼性や安全性を必要とする設備や機器、それらを必要とする業種（医療、航空、宇宙、軍事、警備、輸送、交通、発電など）への用途を考慮していません。

##### 商標・登録商標

本ドキュメントに記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。